

# 白門 58 会 2014 年度定時総会

2014 年（平成 26 年）5 月 17 日

上野「八吉」

議案、議決・検討すべき項目

◎活動報告・活動計画、予算案・決算案の承認

◎役員改選

◎その他

第 1 号議案 2013 年活動報告・会計報告

## ●2013 年活動報告

2013 年度は諸般の事情により総会を開催できず、やむを得ず郵送・メールによる議事承認となった。学会本部に報告する総会日時は、決算報告確定の 2013 年 6 月 23 日とした。しかし有志発案による活動は活発で、忘年会、お花見イベント等を開催した。また、ブログ「中大ニュース」、フェイスブックの週 2 回更新を継続した。

6 月 23 日 決算報告確定・総会議事承認

12 月 21 日 忘年会（高田馬場・キリンシティ）

8 月 17 日 会報第 5 号発行

3 月 29 日 お花見イベント（神楽坂）

その他、ブログ更新随時

## ●会計報告

収入合計 214,000 円（繰越金を除く） 支出合計 101,921 円

収入は、総会を開催しなかったため、維持費を含む総会費の徴収ができず、維持費収入は前年に比べ約 50,000 円減少した。

支出は事業、寄付等を行わなかったため、前年に比べ約 190,000 円減少した。会報発送を 500 件に絞りその費用も制作費に含めたため、通信費支出が 0 円となっている。

## 第2号議案 2014年事業計画・予算

2014年は前年に引き続き、有志発案の小イベントを多数開催し、活動の活性化をはかる。また、ブログ、フェイスブックでの情報交換を活発させるとともに、会報への執筆者を増やすとともに、会報発送件数を増やし会員増強をはかる。他支部との交流は、幹事、一般会員の多くに呼びかけ、学員会補助費の範囲で参加費の支援も行う。

### ●2014年活動計画

- 1 会員交流・他支部交流  
他支部イベントへの参加（参加費の補助）
- 2 大学支援  
被災地学生奨学金募金への協力
- 3 会員増強  
会報・入会申込書の発送
- 4 事業の検討  
運営費の確保

(行事予定)

- 5月16日 学員会支部長会議(駿河台記念館)出席(中川事務局長)
  - 5月17日 総会・上野散策の会
  - 5月17日 学員会総会(駿河台記念館)出席(中川事務局長)
  - 7月31日 会報6号発行
  - 8月予定 暑気払いイベント
  - 10月26日 ホームカミングデー
  - 12月予定 忘年会
  - 1月予定 新年会
  - 3月予定 お花見イベント
- 年次支部協議会開催時に出席、ブログ更新随時

### ●予算

収入合計 468,920円 支出合計 426,579円

慶弔費等は予備費に含み予算化。会報発送費用を優先し、維持費収入、事業実施状況により弾力的に対応する。

## 第3号議案 会則の改正（正式名称の変更）について

5月11日、12日の学員会全国支部長会議、定時協議員会・定時学員総会では、「学員会支部の呼称について」が報告され、平成17年に決議された「支部呼称中に“白門”“白門会”を使うこ

とを認めない」を撤回することが報告された。今後は、既存支部の「白門」使用の呼称変更を認めるとともに、新設支部の呼称の「白門」採用を積極的に働きかけていくこととなった。当会においても、設立時からの念願であった「白門58会」を正式名称とする。

第1条（名 称）

本会は中央大学学会58会支部（通称「白門58会」）と称する。

（改正）

第1条（名 称）

本会は中央大学学会白門58会支部（通称「白門58会」）と称する。

第4号議案 役員改選

本会の役員任期は2か年となっている。本年は改選期であるが、辞退者以外は全員留任し、また幹事増員を提案する。

（役員候補）

会 長	小暮 睦美			
副会長	中川 順一（事務局長）	柳 幸季（会計担当）		
	内村 愛	米山 真澄		
幹事長	吉住 康			
幹 事	伊崎 圭一	岩原 美佳	内田 和浩	
	内山 勢	黒木 康夫	竹田 佳代子	
	福吉 泰造	藤森 康友	宮本 裕之	村田 稔
	光主 圭子	本池 克紀	元村 慶子	
	山田 葵	畔川 いづみ	荒井 辰雄	安東 正策
	堀井 義明			

他に幹事若干名、副幹事長3名を選任予定

事務局 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2丁目14番6号  
03-3204-9403

コンサルファーム有限会社内 担当 中川（事務局長）

第5号議案 その他

ご検討いただきたいこと

1 ホームカミングデー（10月26日（日）開催）の参加形態について

以下を踏まえてご検討ください。

- ①支出予算（持ち出し）は50,000円程度
- ②物販の場合、仕入れ、立て替え、在庫保管、返品について考慮する
- ③当日の人員確保（早朝3名以上、夕方撤収3名以上）
- ④搬入搬出の手配（当日搬入搬出の場合は車両の確保）
- ⑤生鮮品はもちろん、飲食物販売は困難（リスクがある。接待用は茶菓可）
- ⑥テント出店以外、講演会や懇親会等の企画の可否
  - ②～④については、テント設営の倍事務局の負担を軽減していただきたい
  - ⑥については、他支部との共催も要検討（具体的な案はありません）

2 1以外の今年度の具体的な企画や活動方法について

- ①暑気払い、忘年会、新年会、お花見などの懇親企画
- ②イベント（懇親会）の個人負担額の目安としていくらが妥当か
- ③イベント参加費は完全割り勘か、余剰を出し維持費に回すべきか
- ④他支部交流参加費の補助や慶弔費（弔電・生花等）の範囲はどうすべきか
- ・その他

3 会報の企画案、原稿募集

以 上